

2011年8月26(金)19時～20時30分
PMAJ第153回例会



～「コミュニケーション」が変われば「ドラマ」が変わる～
「ドラマチックコミュニケーション」

「伝わる」コミュニケーションがP2Mを加速させる!!

セミナー講師
株式会社 MANY ABILITIES
代表取締役 野原 秀樹



講師プロフィール



講師:野原 秀樹
株式会社 MANY ABILITIES 代表取締役

- ・ハーマンモデル認定ファシリテーター
- ・認知症サポーター ・ヒデキバレエ主宰 ・バレエボランティア代表

- 愛知県名古屋市出身、18歳でジャズダンスを始め19歳で上京バレエを始める
- 日本バレエ協会公演、松山バレエ団など多数の作品に出演する
- TBSテレビ「青春!!島田学校」にレギュラー出演するなど多数のテレビに出演
- 各種公演、発表会、イベント等に於いて振付、出演、プロデュースを行い、バレエだけに限らずアート、エンターテイメントが身近になる活動に取り組んでいる。また、演劇やインプロ(即興)、バレエなどのエッセンスを活用した体感型セミナー、「ドラマチックコミュニケーション」を企画・展開中。更には、老人ホームなどの施設でボランティア公演活動も展開している。

「ドラマチックコミュニケーション」がフジテレビ「エチカの鏡」にて
“好感度を上げる5つの大人気セミナー”として紹介されました!!

講座の目的

自分のコミュニケーションは
確かに相手に伝わっているのだろうか？

伝える・受け止める・判断し行動する
コミュニケーションに於ける「気づき」「意識改革」

「伝わる」コミュニケーションがP2Mを加速させる!!

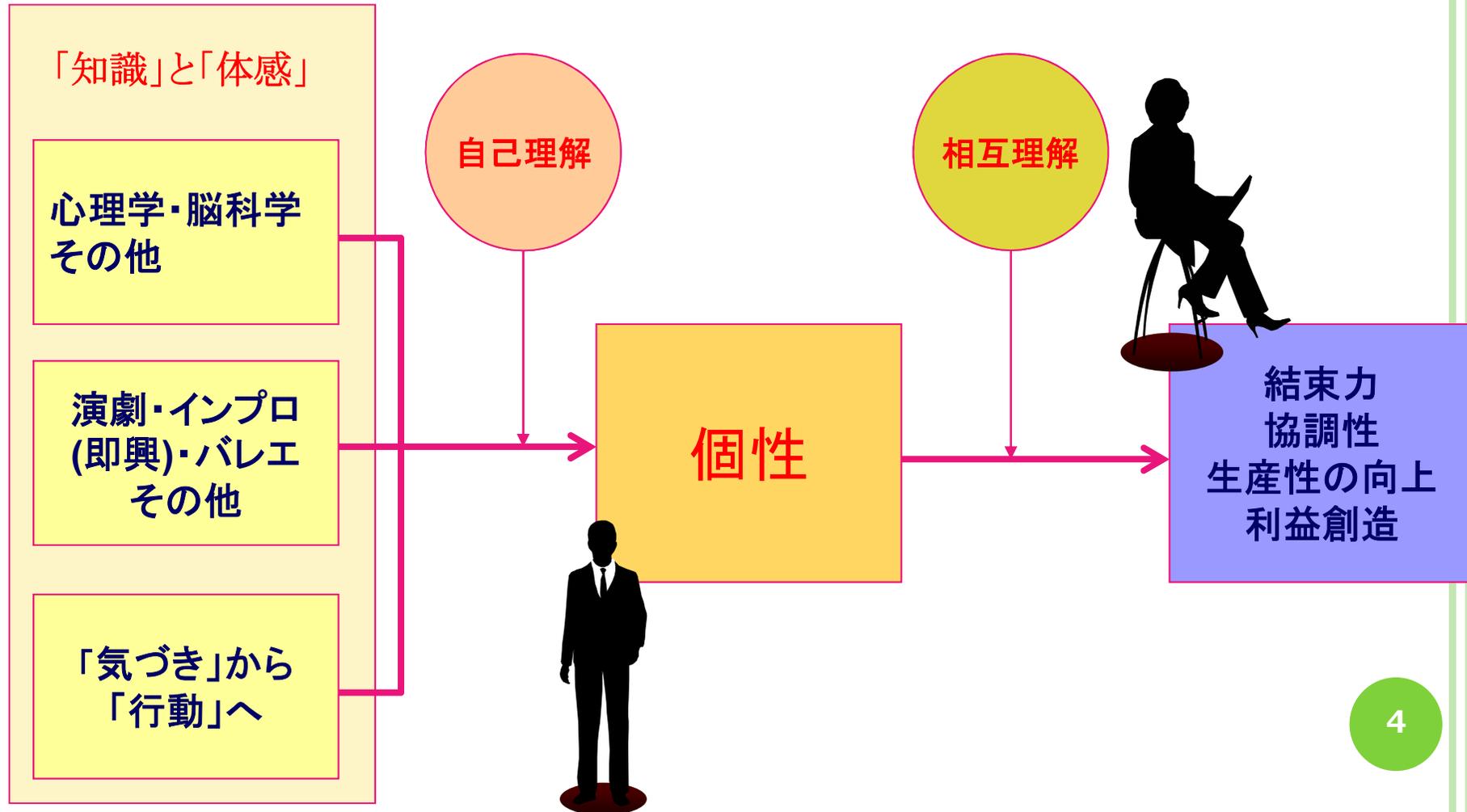
ドラマチックコミュニケーションとは

コミュニケーションの基本

表現力

対応力

振返り



ドラマチックコミュニケーションとは

気づきを与えるインパクトある体感

ふれあい

- ・ 私たちのコミュニケーションは人と人とのふれあいの中で構築されている。幼少から私たちは、様々なふれあいの中で学び合い成長してきた。多様な人とのふれあいを通してコミュニケーション力は高められるのである

コミュニケーション ゲーム

- ・ 体感型のゲーム、ワークを通し非日常の中に自分を置くことにより、素直に「素」の自分を出すことができる。それは、新しい自分に気づく瞬間とも言える。そして、その「気づき」はコミュニケーションへの大きな自信ともなり個性の輝きを増すことになる

ディス カッション

- ・ 自分の感想、意見、気づきを述べ、また他人の感想、意見、気づきを聞く。時には互いの意見をぶつけあいながらも相互理解へと議論を進めていく。自由に発想し語り合える。ドラマチックコミュニケーションだからこそ創り出せるディスカッションの空間である

「コミュニケーション」が変われば「ドラマ」が変わる

コミュニケーションのあり方を構築している要素とは

個人の・・・

- 生き様
- 価値観
- 意識



理解・尊敬・融和
反発・非難・対立

出来事×対応＝もたらされる結果(ドラマ)

出来事にどの様に対応するかによって
もたらされる結果(ドラマ)が変わってくる

対応

＝

コミュニケーション

受け止
める

伝える

判断し
行動する

「コミュニケーション」とは!!

コミュニケーションとは

「**気持ち**」を伝え合う

「**双方向性**」を意識する

3つの聞き方

① 聞く (hear)

何となく、ぼんやりと

② 訊く (ask)

関心をもって意欲的に (自分に関心のある事)

③ 聴く (listen)

熱心に受け止める

2つの「コミュニケーション」

バーバル

言語的な

コミュニケーション

ノンバーバル

非言語的な

コミュニケーション

2つの「コミュニケーション」

- 「**声**」によるコミュニケーション
- 「**表情**」によるコミュニケーション
- 「**動作**」によるコミュニケーション

- **意識的**
- **無意識**
- **個性**

(参考) メラビアンの法則

55%

- 見た目 (視覚情報)
- 全体、動作、姿勢、服装、表情 etc

38%

- 話し方 (聴覚情報)
- 声の大きさ、声のトーン、早さ etc

7%

- 話の内容 (言語情報)
- 内容、言葉づかい etc

「伝える」ということ

- ① 誰に (相手)
- ② 何を (内容)
- ③ 何を使って (手段)
- ④ どの様に (工夫)
- ⑤ どうしたいか (結果)

相手の立場になる大切さを確認

**受取ってくれる相手があってこそ
「伝える」という事が可能になる。**



どの様に伝わっているのか？

振返り・行動目標

◆講座を通しての「気付き」

◆「気付き」から「行動」に移したい事柄